



とびっくす No.34

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <http://www2.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

海の色が変？

～ ハプト藻プランクトンの発生について ～

最近海の色がおかしい？

最近、海の色が明るい緑色のような感じに見えていませんか？浜田周辺でも 4 月 6 日頃から海の色が明るい緑色がかかったような色に変色しているのが観察されています。

衛星画像でもここ数日、島根県の本土側の沿岸近くで海色が変わっているのが確認できます(写真2)。

原因はプランクトン「ハプト藻」の大量発生

(島根県では初めて)

県内各地で検査のために採水した水を検鏡したところ、浜田・恵曇で採水した水から、写真3のような大きさ 10 μ (1/100mm)ほどのプランクトンが大量に見つかりました(表1)。瀬戸内海区水産研究所に同定依頼した結果、このプランクトンはハプト藻の仲間の「円石藻」の一種 *Gephyrocapsa oceanica* (ゲフィロカプサ・オーシャニカ)であることが分かりました。ハプト藻は他県や外国では時々大発生して水の色を変えたりすることが知られていますが、島根県ではこのような大発生はこれまでに例がありません。

現在の春の時期は海域にプランクトンが発生しやすい時期ではありますが、本種プランクトンが海の色が変わるほど大量に発生した原因は不明です。

プランクトンに毒性はありません

ハプト藻には毒性はなく、魚介類に対する直接の悪影響はないと考えられます。(現時点でも魚介類に対する被害は全く報告されていません。)

表 1 採水結果(1ml あたりハプト藻細胞数)

採水場所	(水深)	
	表層	底層
石見(浜田)	2,475	2,113
出雲(恵曇)	1,822	2,775
隠岐(西ノ島)	35	38

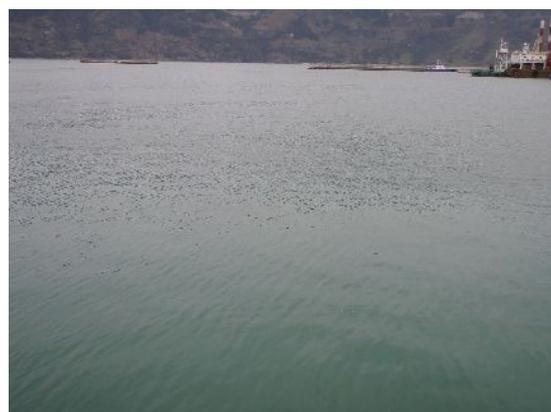


写真 1 明るい緑色に変わった海の色

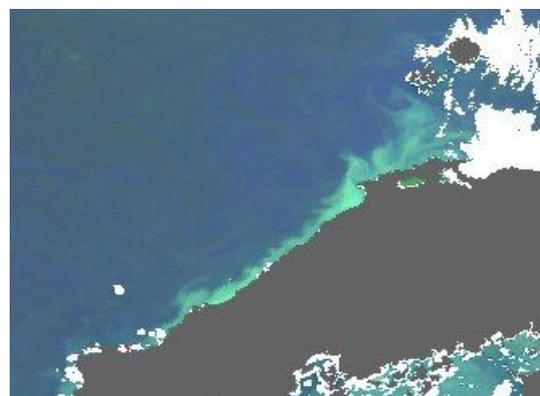


写真 2 衛星画像(4月8日、簡易大気補正済み輝度画像)(宇宙航空研究開発機構(JAXA)提供)

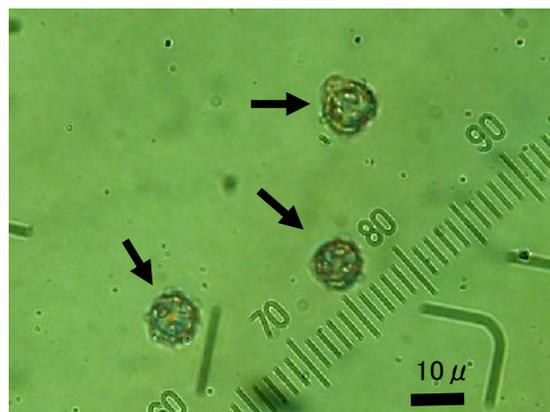


写真 3 ハプト藻 ゲフィロカプサ・オーシャニカ

カブトクラゲが大量発生中

今年の春はこれ以外にも、例年と変わった現象がありました。例えば、例年より1ヶ月近く早い3月にノクチルカ(夜光虫)による赤潮が発生して新聞の紙面を賑わしました(写真 4、ノクチルカによる赤潮は魚介類にはほとんど無害です)。

また、4月中旬現在、島根県下全域でカブトクラゲ(写真 5)と呼ばれるクラゲが多く発生してまき網や定置網に大量に入網しています。カブトクラゲは大きさが5-10cmのクラゲで、「クシクラゲ」と呼ばれるクラゲの仲間です。クシクラゲの仲間はエチゼンクラゲやミズクラゲとは異なり刺毒はないものの、まき網や定置網では網が揚がらなくなるほど入網するなど漁業者を困らせています。カブトクラゲを始めとするクシクラゲの仲間は例年春の時期にはよく見られますが、漁業に被害を及ぼすほど発生するのは珍しいことです。島根県だけでなく、京都府などでも同様の発生が報告されています。この大発生についての原因もよく分かっていません。



写真 4 ノクチルカの赤潮



写真 5 カブトクラゲ



写真 6 定置網に大量入網したカブトクラゲ

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1

TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079

ホームページ: <http://www2.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp

※ ホームページで「島根のさかな」を順次公開中です。

<http://www2.pref.shimane.lg.jp/suigi/>